

答:金子昌生

われわれの場合は形態的な問題を重視しましたので、十分なカウントを取りながら写真をとりましたので、^{99m}Tc ^{10m}Ci を用いて 7~8 秒おきです。実際には 1 秒 2 枚位まではとれると思います。しかし、Anger 方式では RI の量を大量に使っても反応しなくなる欠点がありますが、臨床的には十分使えると思います。しかし、鮮鋭問題にすれば、シンチカメラによる血管造影はスクリー度等をニングの意味が大きいと考えます。

追加:三嶋 勉 (金沢大学放射線科)

われわれの使用している国産連続撮影機では 0.5 秒曝射まで撮像可能である。

*

9. 膵スキャンの経験

佐々木常雄 (名古屋大学放射線科)
金子昌生 (愛知県がんセンター放診)

膵スキャンの対象とした膵疾患は慢性膵炎 20, 良性膵腫瘍 4, 膵嚢腫 1, 膵癌 12, 正常 8, その他 15 例について行なった。⁷⁵Se-selenowethionine 200 μ Ci を静注し, scinticamera により数分ごとに数枚撮影し, ついで島津製作所スキャナーを用いてドットスキャンを行なう。

正常膵の形, 大きさ, シンチフォトとドットスキャンとの膵シンチ像の特徴について考察した。

質問:服部 武 (名古屋大学第 3 内科)

慢性膵炎の症例の確定診断はいかにして行なわれましたか?

答:佐々木常雄 (名古屋大学放射線科)

臨床症状, 線検査パングレオザイミン試験などの膵機能検査により臨床的に診断されている。

10. 結節性甲状腺腫のシンチグラムと組織像

小野田孝治 山上 侃 飯田幹穂
(国立東静岡病院)

結節性甲状腺腫の最近 6 年間の手術例 (44 例) から, Scintigram と組織像を比較した。

Hot nodule は adenomatous hyperplasia (甲状腺内に単発し, 腺様硬度), follicular carcinoma (腺内, 外およびリンパ節に多発し, 凹凸不平で硬い) があり, **Cold nodule** は degeneration of follicular adenoma (腺および隣接して単発し, 類円形, 肝様硬度, 時に波動あり, 出血性内容のものは悪性), acinar adenoma, follicular

carcinoma (ともに甲状腺内あるいは隣接部に単発, 類円形, 肝様硬度, 多発は悪性), papillary adenoma et carcinoma, follicular-papillary adenoma et carcinoma, undifferentiated carcinoma (ともに軟骨様または骨様硬で, 甲状腺, 周囲組織, リンパ節に単発ないしは多発凹凸不平) がみられ, 硬度不平等で, scan 像が濃淡不規則なものには Hashimotos disease, follicular carcinoma がみられた。

cold nodule における良性悪性の判別には, 1) 左右不対象のとき, 圧迫によるものは良性, 侵蝕性のは悪性. 近隣に硬い腫瘍のあるものは悪性. 2) 硬度が肝様のは良性, 軟骨様のは悪性. 3) 小さく辺縁が移行型のものは良性, 虫喰い型のものは悪性. 広範囲の欠損は悪性。

質問:古本節夫 (富山県立中央病院放射線科)

1. 結節性甲状腺腫のシンチグラム描記にたいして, needle biopsy を併用しておられますか。
2. 甲状腺シンチグラム像よりみた橋本氏病甲状腺腫の特徴といったものを?

答:小野田孝治

1. 甲状腺は血管に富んでいるため, needle biopsy は危険を伴ない, 外科では一気に手術することを望みますので行なっていません。
2. Hashimotos disease は, 触診所見, B. M. R. uptake test TA test Scan 像などを考えて診断しますが, この疾患にも初期, 盛期, Riedel 氏病との移行型などがあり, 確診は histology にまつべきものと考えます。

*

11. アイソソルブについて

斉藤 宏
(名古屋大学放射線科)

UIBC の測定をレジンポンジを用いて簡単に行なうたなキットが作られたのでテストした。

MgCO₃ も顆粒状レジンも一定量により血清中のフリーの鉄 (⁵⁹Fe) を除去することができたし, 比色法の成績とも合致する成績をえた。しかしアイソソルブでは, UIBC の正常値は約 50% 高い値となった。テストは同一人血清につき 2 回繰り返しかえしたが, そのバラツキはわずかであった。高値を示したのは操作技術上の問題ではなく, スポンジに含まれるレジンの量が不十分であるためと考えられた。血液学的に承認されている値をうるには